

令和2年度 金谷中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

	実施方針	目標	具体的な取り組み	
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるための体制を整える。	地域の企業や事業所、団体等と協働し、高齢者の見守り体制を構築する。	15ヶ所の事業所への包括広報紙の配布【毎月】、金谷地区見守りネットワーク事業所連絡会【年1回】、事業所への出前講座の実施【年3回程度】
			地区社協をはじめとする地域活動団体や事業所の会議に出席し、高齢者支援事業について検討などを行う。	金谷地区社協・総会、会議【年2～3回】、金谷南地区民児協と包括との情報交換会【年1回・5ヶ所】、生活支援をつなぐ会【年2回】、運営推進会議【7ヶ所・年2回】など
			地域住民が終末期について具体的なイメージと理解を深め、自己決定ができるよう医療機関等と連携し、支援をする。	「もしバナゲーム」を通じ、リビング・ウィルやエンディングノートの普及を図る。金谷地区ケアマネジャー連絡会や高齢者あんしん講座の中で実施する。
	高齢者が地域で介護予防などができるよう支援する。	いきいきクラブ、地域ふれあい、居場所などで「高齢者あんしん講座」を実施し、介護予防の意識を高める。	高齢者あんしん講座【年48回以上】（介護保険、認知症予防、口腔ケア、栄養、熱中症予防、消費者被害等）	
		地区のしまとれ継続支援を行う。また、地域での座談会などを通して高齢者が集える場づくり（新規しまとれや居場所）を支援する。	28ヶ所のしまとれへの支援、新規立ち上げ（北五和地区 他）	
		地域活動の担い手支援と連携を図り、団体が継続的に活動ができるよう支援する。	しまとれ活動団体連絡会【年1回】 地域活動団体連絡会【年1回】	
認知症施策の推進	地域住民が認知症予防の意識を高めるとともに、認知症になっても安心して暮らせる地域のサポート体制を整える。	チームオレンジを1チーム結成し、認知症の本人・家族が必要とするニーズ把握を行い、足りない資源について検討を行う。	チームオレンジ結成会【年1回】 チームオレンジ連絡会【年3回】 認知症サポーター養成講座の開催、エコカフェの開催協力	
		地域住民が認知症予防の意識を高められる機会と認知症サポーターが活動できる場を作る。		
		福祉教育を通して高齢者への理解と支援の必要性を若い世代に伝える。	小中高高校生を対象とした認知症サポーター養成講座【年1～2回】	
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	地域課題を把握し、課題解決に向けて多職種、多機関との連携に努める。	医療・介護従事者、地域住民等と連携し、情報共有と課題解決を行う。	金谷地区ケアカフェ【年4回】 個別地域ケア会議及び小地域ケア会議 重点テーマ：障害分野との連携、一人暮らしの認知症高齢者支援等【年4回ずつ】
	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員の質の向上に努め、関係機関との連携強化を行う。	地区のケアマネジャーや関係機関との連携を図り、適切に高齢者支援ができるよう支援する。	金谷地区ケアマネジャー連絡会【年3回】、民生委員とケアマネジャーの情報交換会【年1回】、地域資源のとりまとめとケアマネジャー等への情報提供【随時】
	家族介護者の負担軽減等の支援	安心して在宅での介護ができるよう支援をする。	在宅介護者同士が話をしたり、リフレッシュができるよう支援する。また、今後介護知識が必要となってくる30代～50代の世代や男性介護者を対象の「介護教室」を実施する。	金谷地区介護者のつどい「いっぶく処」の支援【月1回】 男性のための介護教室【年1回】 はじめての介護教室【年1回】